

編集後記

技報第9号がお手元に届くのは、春の陽光がまぶしくなった頃かと思いますが、読者諸兄におかれましても各種報告書の作成や、竣工、既済部分検査などに追われご多忙な毎日をお越しのことと思います。

道路橋の技術基準書である道路橋示方書が2月に改訂され、それに伴い公団の基準類の改訂作業も大詰めを迎えています。新しい道示・研究成果や新技術の成果を単に取り入れるだけなら作業もかなり早く終わるのですが、現在の設計との整合性、改訂内容の影響度、またその運用などによりかなりの行政的な配慮が必要で、公団基準作りも遅れ気味となっています。

今回も17編の論文を掲載することができました。それぞれ、貴重な内容で専門的にも優れたものであることは誰も否定はしませんが、それぞれの御研讃をわかりやすく、要領よく所定の枠内に入れるという技術を確^立率~~率~~していただきたいと思ひます。

最後になりましたが、巻頭言を執筆していただいた松橋常任参与、編集委員長野村審議役をはじめ発刊にご尽力いただいた委員、幹事の皆様、管理技術センターの関係者に深く感謝いたします。

(大志万 記)
